

第2回 奈良市リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議 議事録

1. 日時 平成26年10月14日(火) 15時～16時
2. 場所 奈良市役所 6階 正庁
3. 出席者 (会長) 奈良市長 仲川 げん
(会員団体) 一般社団法人奈良市商店街振興会 会長 正木 康雄
春日大社 祢宜 西村 泰宏
株式会社まちづくり奈良 社長 松森 重博
元興寺 坂田 有道
公益社団法人奈良市観光協会 会長 中村 憲児
興福寺 執事 辻 明俊
西大寺 執事 笹尾 正道
大安寺 貫主 河野 良文
唐招提寺 増田 證信
東大寺 鈴木 公成
奈良観光物産協会 会長 土屋 信一
奈良観光物産製造卸組合 会長 前田 武
奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部支部長 下谷 幸司
奈良市自治連合会 会計 金野 秀一
奈良商工会議所 副会頭 矢追 盛賢
奈良商工会議所青年部 会長 松本 和也
薬師寺 執事長 加藤 朝胤
(顧問) 奈良県議会議員 猪奥 美里
奈良県議会議員 荻田 義雄
奈良県議会議員 新谷 紘一
奈良県議会議員 畠 真夕美
奈良市議会 議長 土田 敏朗
奈良市議会 副議長 東久保 耕也
奈良市議会 観光文教委員会 委員長 階戸 幸一
奈良市議会 観光文教委員会 副委員長 藤田 幸代
(事務局) 観光経済部部長 川本 了造
観光経済部参事事務取扱リニア推進課長 山岡 利啓
リニア推進課課長補佐 原田 勝
リニア推進課主任 小谷 理衣
リニア推進課 奥村 宜幸

4. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 副会長の選任の報告について
- (4) 現在のリニア新駅誘致活動状況について
- (5) リニア中央新幹線奈良駅設置推進決議について
- (6) 閉会

【会長挨拶：仲川げん奈良市長】

リニア中央新幹線の話は、新聞紙上にのぼらない日がないくらい、日々状況が動いている。東京大阪間の同時開業は、関西経済界の声としてあがっているが、前向きな状況はまだ見えてこない。一方で、われわれは基本計画で決定されている「新駅は奈良市付近に」という念願を実現していかなければならない。

もし同時開業が実現すれば、開通時期は相当に前倒しになることが予想される。奈良市内の観光の活気も出てきているところであり、今後「観光立国」を進めていくにあたって、奈良市が大きな役割、責任を果たしていこう。今年、JR東海からも名古屋以西のルートについて、より絞り込んだ情報が決定される可能性もあるなかで、これまでと同様、一貫した流れに基づいて、新駅誘致に力を入れていきたい。会議については、従来から皆様にお力添えいただいているが、新たなメンバーとして顧問の皆様にもお力をいただければと考えている。官民が心をひとつにして念願を成就させる、そのために、ぜひ力添えをいただきたいと思う。

【誘致への思い：会員・顧問】

一般社団法人奈良市商店街振興会 会長 正木 康雄

リニア新駅設置は、奈良市における商売繁盛のチャンスであり、奈良市全体の発展から見ても、リニア新駅設置は欠かすことができない。奈良市全体がこの思いを共有して盛り上げていき、「奈良市に新駅ができる」という確信をもって運動を進めていただければと思う。

春日大社 祢宜 西村 泰宏

先人達が後世に残すものとして奈良の文化財を残したように、今の私たちが次の世代に残すもののひとつとして、リニア中央新幹線新駅があるのではないか。奈良市全体が心をひとつにして信念を持ち、誘致に積極的に働きかけていきたい。ぜひ新駅を次の世代に残していきたい。

株式会社まちづくり奈良 社長 松森 重博

8月26日のシンポジウムで講演を行った教授が、「新駅ができることでストロー効果が発生すると言われているが、そうではなく、その前にしっかりとビジョンを持ち、まちの構想を作り上げておくことが重要だ」とおっしゃっていた。約1300年の歴史ある奈良市に、ぜひともリニア新駅ができるように頑張っていきたい。

元興寺 坂田 有道

昭和48年の基本計画などからも、新駅が奈良に来るのは間違いないと思うが、「奈良市付近」ということであれば、奈良市周辺の自治体ということも考えられる。後で何とかなる、というのではなく、来てもらうためにいま、何をどうするのか、特に観光面や近隣市町村との連携という点を具体的に考えていくべきだと思う。

公益社団法人奈良市観光協会 会長 中村 憲兒

奈良市観光の将来を描くとき、リニア新駅なしでは考えられない。約50年前に東海道新幹線が京都を走った時から、奈良と京都の差が出てきた気がする。一日も早く、奈良にリニアが開通することを待ち望んでいるし、そのために力を合わせて頑張っていきたい。

興福寺 執事 辻 明俊

2045年には、コンピュータが全人類の知能を超えるという予測もあるそうだが、最終決定は、人と人のつながり、対話が鍵になることを願う。奈良の利点は、過去にも大きな災害が少ない、ということだ。観光に限らずこの点も重要な新駅誘致のポイントとなるだろう。

西大寺 執事 笹尾 正道

新駅が設置される2045年頃には、交通網がより整備されていることが予想される。リニアと私鉄の関係や、どのような経済効果がもたらされるかという計算と予測をきちんと行っていただきたい。奈良県内では県知事に提出されている決議書も既にあるので、我々もきっちりとした情報や裏付けを踏まえて決議をさせて頂きたいと思っている。

大安寺 貫主 河野 良文

リニア中央新幹線が来ることによって、奈良による日本の国造りの再来になるという気概をもって誘致に取り組みたいと考えている。リニアが開通したは良いが、早く来て早く帰ってもらっては困るので、ゆっくり滞在してもらえるまちづくりを考えていかなければならない。奈良県として「奈良市付近」を大前提として進んでいただければと思う。

唐招提寺 増田 證信

観光・経済の両面から見ても、なるべく早い段階で奈良にリニアが来てほしい。大和郡山市・生駒市・奈良市と候補地がある中で、それぞれの場所の経済効果や交通体系などに関して多角的に分析を行っていただければ、と考えている。

東大寺 鈴木 公成

東大寺としては、リニア新駅が奈良市付近に設置されれば、人の流れがより増える。社寺の参拝者の動向にも関わる問題なので、深い関心を寄せている。実りの多い会になるよう、よろしく願いしたい。

奈良観光物産協会 会長 土屋 信一

リニア中央新幹線が来ることによって奈良市の観光の発展は、京都に負けないくらいの魅力あるものになると思う。首都圏からの観光客をたくさん呼び込んで、更なる経済・観光の発展に繋がるだろう。

奈良観光物産製造卸組合 会長 前田 武

新駅の設置によって、奈良市は大きく様変わりするだろう。奥ゆかしく、さほど積極的ではない奈良市民だが、地域の盛り上がりなくしては、県・国・JR東海を動かすことはできない。力を合わせて、ぜひとも奈良市に新駅を誘致したい。

奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部 支部長 下谷 幸司

「遷都1300年祭」以来、奈良市での宿泊客数が低迷している。明るい兆しが見えてこないが、後継者のためにも、リニア新駅をぜひ奈良市に誘致したい。ライバル視するわけではないが、この時を逃したら京都とますます差がつく。力を合わせて新駅誘致に取り組んでいきたい。

奈良市自治連合会 会計 金野 秀一

リニア新駅誘致は、自治連合会としてもしっかりと応援していこう、という話をしている。誘致については、観光・産業ということに話が行きがちだが、新駅ができることは何よりも「奈良市民」にとって有益なことである。市民目線も大切に、しっかり議論していただきたいと思う。

奈良商工会議所 副会頭 矢追 盛賢

リニア中央新幹線の新駅誘致については、多数の団体がおおいに関係する事案である。奈良の優れている部分や将来のビジョンといった、他と差別化できる部分を、20年後30年後を見据えた時間軸の中で考えていかなければならない。行政主導で誘致が行われると思うが、官民一体で取り組んでいきたい。

奈良商工会議所青年部 会長 松本 和也

愛する奈良の未来と活性化に関して、リニア新駅誘致は非常に重要な課題である。いままで以上に、観光のみならず、国際交流事業等も更に活発になることを期待している。皆様とともに取り組んでいきたい。

薬師寺 執事長 加藤 朝胤

奈良市は1300年間歴史のあるまちであり、その点では、世界有数のまちである。新駅を国造りのはじまり・平城京の南端「羅生門」に置くとする。駅を降りると羅生門があり、その先には朱雀大路・朱雀門…日本のどこにもない素晴らしい駅ができるだろう。「奈良」であることの自覚・誇り・熱い思いを持って取り組んでいただきたい。

奈良市議会 議長 土田 敏朗

東海道新幹線の開通で、京都と奈良の観光客数において今では大差がついている。鉄道の役割というものは非常に重要だと思う。奈良市に年間1300万人が観光に訪れるが、奈良市に泊まる人は1割程度。リニア新駅誘致というこのチャンスに、しっかりと各種団体で協力し、実現に向かって邁進していただきたい。

奈良県議会議員 荻田 義雄

「自由民主党超電導リニア中央新幹線に関する特別委員会」や関経連でも、2027年までに関西圏までの同時開通と、従来から言われてきた「奈良市付近」を通るルートでの敷設の2つの方針を打ち出している。「奈良市付近」は、先人達が培ってきた決定事項であり、個人的にも思い入れが強い。実現に向けて邁進していきたい。

奈良県議会議員 猪奥 美里

奈良がどこにあってどのくらいの距離にあるのか、他府県の方に意外と知られていない、という現実がある。リニア新駅誘致はいまが勝負時だが、誘致の過程のひとつひとつが、観光誘致、商業誘致のPRにもつながると考えて、皆様と共に頑張っていきたい。

奈良県議会議員 新谷 紘一

リニア中央新幹線は東海道新幹線とできるだけ離す、ということが重要であり、基本計画（昭和48年 担当大臣 新谷寅三郎）で示されているように、三重・奈良ルートが前提である。基本計画・整備計画に基づいた三重・奈良ルートの実現をすることが将来に対する責任である。将来的な経済効果も当然考えられるこのリニア新駅誘致を、ぜひ勝ち取っていききたい。

奈良県議会議員 畠 真夕美

現在、奈良県内では3市が名乗りをあげ、県議会議員もそれぞれ応援している。災害時のリスク分散、という点や、観光中心地であるということを考えれば、奈良市にぜひリニア中央新幹線の新駅を、と思っている。最終的にはJR東海による判断だとは思いますが、奈良市にぜひ誘致できるように取り組んでいきたい。

奈良市議会副議長 東久保 耕也

リニア中央新幹線の新駅誘致は、奈良市におけるまちづくりの方向性を左右する大きなプロジェクトである。奈良市には世界遺産をはじめとした数多くの観光資源がある。奈良の魅力を世界にアピールするためには、リニア中央新幹線の誘致が不可欠。経済発展、市民の快適で豊かな生活のためにも、ぜひ誘致が成功することを期待している。

奈良市議会 観光文教委員会委員長 階戸 幸一

新幹線も空港もないのは、奈良県・三重県を含む3県のみ。更に災害時のバイパス機能という点も考えると、いかに奈良市付近―三重県のルートが重要か理解できる。また京都も誘致活動を行っているが、直進性という点では効率が悪い。これらの点も含め、全国有数の文化財を有する奈良市が、重要な役割を担っていこう。

奈良市議会 観光文教委員会副委員長 藤田 幸代

以前JRのCMで、「京都・大阪・神戸 三都物語」というのがあり、三都の中に奈良市が入っていないことを残念に見た。ぜひとも奈良市にリニア新駅を設置し、全国からたくさんの方に、奈良の都に一直線に来ていただくことを期待する。

【副会長選任報告：観光経済部参事事務取扱リニア推進課長 山岡利啓】

公益社団法人奈良市観光協会会長・中村憲児氏と、奈良商工会議所副会頭・奈良商工会議所第21期リニア中央新幹線推進特別委員会の委員長である矢追盛賢氏の2名に依頼。異議なしで、2名が副会長に選任された。

【リニア新駅誘致PR活動報告：

観光経済部参事事務取扱リニア推進課長 山岡利啓】

「地元奈良でのPR」「奈良以外でのPR」「事業主体や国等へのPR」という3つのカテゴリごとに、現状の奈良市におけるPR活動を報告した。

【決議案説明：観光経済部参事事務取扱リニア推進課長 山岡利啓】

決議案を山岡参事により読みあげたあと、異議なしとして採択された。

【閉会挨拶：仲川げん会長】

今回の決議についてだが、1つ目は災害時のリスク分散が必要、簡単に言えば「京都ではない」という内容である。3つ目については「県内では奈良市しかない」という内容である。京都市に新駅が誘致されるというリスクはまだ考えられるため、緊張感を持って取り組みたい。県外の方には、関西の誘致の状況はまだまだ知られておらず、継続したPRが必要である。

県内での誘致についても様々な意見がある。県全体の発展と併せて私達も考える必要がある。新駅の位置を決定づける大きな問題として「鉄道需要」というものがある。今後、人口減少が避けられなくなるなか、観光での利用が必要となる。その点では奈良市に新駅が設置されることで、近隣自治体に経済効果をもたらすだろう。今回の決議は、奈良市内だけでなく、関西ひいては日本全体のために、奈良市新駅が必要である、ということを書いたものである。新駅誘致に関しては、まだまだ安心できない状況である。ぜひとも引き続いての支援を皆様から賜り、奈良市におけるリニア新駅の必要性を訴えていきたい。